

多賀

社報「たが」

秋号 No. 72

令和6年10月1日発行



多賀大社



古例祭

九月九日、恒例の九月古例祭が斎行されました。祭典後は約一七〇名にも及ぶ神幸行列が秋晴れの町内を練り歩きました。

九月古例祭の頭人は多賀町内を六つの地区に分け各地区の輪番制により選出されます。本年は久徳・八重練・一円・栗栖・大岡地区を代表して八重練区より中西茂行氏が頭人として全ての神事を恙なくご奉仕頂きました。

頭人奉仕者名簿は慶長元年（一五九六年）より当社に残されております。幾度かの変遷を経ながらも今日まで連続と続いているこの頭人制度は氏子区域の協力により成り立ち、多賀大社のお祭りを支えております。



頭人

なかにし しげゆき
中西 茂行氏

昭和33年5月4日（満66歳）

（株）雄夢 代表取締役

滋賀県立大学 環境建築デザイン学科 非常勤講師

（一社）地域再生プロジェクトみなおし 代表理事

大字八重練区 区長



令和5年献幣使奉仕風景

講社大祭（献幣使） 九月二十八日

多賀講員の家内安全・延命長寿を祈願する講社大祭が斎行されました。本年の献幣使は彦根多賀講 講長 木村正彦氏にご奉仕いただきました。

講社大祭献幣使を奉仕して

彦根多賀講

講長

木村

正彦



悠久の歴史ある全国でも名高い多賀大社多賀講の全国の講員様を代表いたしました。令和六年度の献幣使の大役を仰せつかりましたことに、至高の喜びと彦根多賀講の大変名誉なことと深謝申し上げます。当日は全国の講員様のご家族のお幸せと延命長寿そして全国の多賀講と多賀大社の弥栄をお祈りさせていただきました。

私とお多賀さんとの縁は、今から七十年程前の小学校五・六年生の頃です。親から聞かされていた「お伊勢参らばお多賀へ参れ」を地で行くかのように、初詣は必ず、多賀大社までの約六キロの道程を徒歩で家族をはじめ同級生や知人等みんなで初々しさに溢れながら参詣いたしましたことが始まりです。この度の祭祀に奉仕させていただきましたこと、ひとえに多賀の大神様のお導きと日々感謝いたしております。今後とも多賀大社の大神様のご加護を末永く賜りますよう、全国講員の皆様のご健勝を祈念いたします。ご奉仕に際しての御礼とさせていただきます。

また、ご奉仕にあたりましては多賀大社の講務部を始め、彦根多賀講の皆さまのご支援のもと大役を務めることができましたことに併せて有難く感謝申し上げます。

— 供奉者ご紹介 —

奥 弘司氏
 辻 久治氏
 清水 秀樹氏
 鹿野 豪士氏
 片山 敏雄氏

境内東トイレの建て替え

現在、境内東側トイレの建て替え工事をしております。従来のトイレは老朽化による外観の傷みのみならず、周辺の根がトイレの配管に危害を及ぼすなど修繕を繰り返しながら使用してきました。加えてトイレ内も洋式ではなく和式であった為、高齢者をはじめ利用者には大変ご不便を付けておりました。

去る五月七日に地鎮祭を斎行し、現在工事を進めております。

竣功は十二月頃を予定しており、お正月には新しいトイレをご利用頂けます。



(完成イメージ)

多賀講

永年世話係表彰

今後共かわらぬお力添えをお願い申し上げます。
尚、現在登録の就任年月日より選出しております。

就任三十年世話係

名古屋市	中島 智也	西春日井郡	岡島 長利	岐阜市	松波 源司	長浜市	林 増雄	近江八幡市	村井 勝明	伊賀市	東 登喜男	津市	長谷川 廣正	伊賀市	辻堂 公治	南丹市	菅生 健	綴喜郡	上辻 宏和	尼崎市	酒井 真一
------	-------	-------	-------	-----	-------	-----	------	-------	-------	-----	-------	----	--------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	-------

就任二十年世話係

飯田市	矢澤 良尚	野田市	寺田 和民	名古屋市	林 隆博	一宮市	黒田 純二	大府市	安藤 雅之	岡崎市	野澤真由美	知多郡	成田 進吾	養老郡	大橋 久敏	郡上市	長尾 善弘	可児郡	佐々木 幹夫	関市	山口貴志子	東近江市	和田 正由	彦根市	若林 賢一
-----	-------	-----	-------	------	------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	--------	----	-------	------	-------	-----	-------

就任十年世話係

甲賀市	大野喜久夫	東近江市	青山 守	愛知郡	森 清	犬上郡	嶋村 成男	長浜市	清水 義文	長浜市	天野 隆司	近江八幡市	村井 英樹	京都市	中村 隆男	相模郡	北 由行	相模郡	村城 信隆	綴喜郡	清水 甚	丹波篠山市	小畠 和男	丹波篠山市	倉掛 英介
-----	-------	------	------	-----	-----	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-------	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	------	-------	-------	-------	-------

新城市	生田 康博	海津市	山田喜和子	高山市	牧上 一成	可児郡	安藤 靖彦	可児郡	安藤 和夫	不破郡	山本 勝利	弥富市	古田 孝之	東近江市	永井太嘉司	東近江市	福永 市郎	彦根市	濱村 功	彦根市	北川 彰	彦根市	近藤 和夫	彦根市	澤 昭夫
-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	------	-------	------	-------	-----	------	-----	------	-----	-------	-----	------

(順不同・敬称略)

長浜市	谷村 浩一	長浜市	藤田與史雄	長浜市	野本太四郎	甲賀市	山本 淳治	甲賀市	西本 恵一	甲賀市	木下 昌夫	甲賀市	袖口 進	甲賀市	望月 隆治	湖南市	西河新五郎	蒲生郡	門 庄助	蒲生郡	山田 和由	蒲生郡	西 善一	東近江市	久保榮三郎	東近江市	奥村 茂信	東近江市	中川 次男	近江八幡市	福持 幸郎	名張市	夏秋 佳生	名張市	森嶋 康介	伊賀市	西山 孝司	木津川市	河井 規子	相模郡	森脇 順	綴喜郡	村上 保隆	枚方市	岡田 富一	丹波篠山市	高橋 智徳	丹波篠山市	雪岡 秀博	丹波篠山市	河南 照宏
-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	------	------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	------	-----	-------	-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

新任講長他役員・世話係ご紹介

甲賀市	鈴木 義雄	不破郡	小畑 政治	大垣市	森田 博重	大垣市	松原 勇	甲賀市	幡野 剛	東近江市	中野 隆	彦根市	森 正治	草津市	福井 一雄	甲賀市	森田 則久	甲賀市	平野 俊哲	稲沢市	松村 宏造	津島市	古田 孝之	伊賀市	居附 秀樹	木津川市	福田千鶴子	荒尾 渡	米原市	鳥井 整政	三方郡	富田 修一	伊賀市	酒向 利彦	美濃加茂市	守屋 誠	彦根市	小寄 幸代	名古屋市	三輪 勝裕	大垣市	平井 正二	米原市	矢野喜司男	長浜市	森本 修平	河内長野市	堀 純一	安八郡	都丸 俊治	松阪市	中川 聡	米原市	大久保誠人	四日市市	
守山市	今井 博美	伊賀市	滝 弘之	伊賀市	浅井 忠一	甲賀市	藤橋 雅嗣	長浜市	尾崎 秀幸	伊賀市	上山 晴子	長浜市	伏木 衛	名張市	深山 博之	伊賀市	塚本 恵大	木津川市	岩田トシ子	丹波篠山市	桑形 恵簾	彦根市	吉原 伸郎	近江八幡市	間宮 正巳	津市	岡田 秀之	草津市	奥村 繁数	東近江市	横田 修	彦根市	西村登喜夫	彦根市	藤野美百合	下伊那郡	菅沼 秀夫	郡上市	野々田 聡	東近江市	川副 滋乃	彦根市	小里 博文	郡上市	小酒井 保	高山市	金田 実									

(令和六年七月三十一日現在)

何卒よろしくお願ひします。

(再任含む・敬称略)

講員祈禱を受けませんか

多賀講員ならば、特別なご祈禱を受けられることをご存じでしたでしょうか。

欠かさずに月参りをされる方々、息子さんの厄除祈願を併せて申し込まれる方、四世帯揃ってお越しになる賑やかなご家族もあります。**多賀講総本部**にて、専任職員が随時ご祈禱のお申込みを承っていますので、是非お立ち寄り下さい。尚、講員祈禱料は一、〇〇〇円以上のお志です。

特別なお祭りに参列しませんか

古例大祭（多賀まつり）

鎌倉時代から続く当社年間の最重要儀。四〇頭の馬が繰り出し、騎馬行列は五〇〇名にも及ぶ絢爛豪華なお祭りです。講員様は本殿祭に参列ができます。

令和七年四月二十二日(火)

※8時15分までに**授与所**へお越し下さい

講社大祭

毎月二十八日に多賀講月次祭にて、全国講員の家内安全・延命長寿が祈られています。九月二十八日は多賀講一番のご縁日です。本殿で拝礼ができます。

令和七年九月二十八日(日)

※10時30分までに**参集殿**へお越し下さい



【受付時間】
8:30 ~ 15:30

変更が生じた際は、ホームページにてお知らせします。

※QRコードから『お知らせ』のページへ→



コンビニやスマホ決済で、講金が納められます

〔本年度も神符直送の講員様に限りません〕

額面や記載事項に変更が「ない」方

お振込方法は、左記のいずれかをお選びください

下段の振込用紙
をご使用下さい



コンビニエンス
ストア



スマホ決済



銀行振込

手数料 無料

振込手数料は
ご負担下さい

額面や記載事項に変更が「ある」方

ゆうちょ銀行・郵便局の窓口またはATMをご利用ください

※変更が「ない」方が使用されても構いません

上段の振込用紙
をご使用下さい



変更やご連絡事項を
余白にご記入



ゆうちょ銀行等
(窓口・ATM)

手数料 無料

御世話係様の神納方法は変更ありません。次年度の対応に向けて準備中です。

ご献灯名簿

Table listing names and addresses of donors, organized by region (e.g., 福永信行, 若林次郎, 深田義廣, etc.).

伊勢神宮参拝旅行

八月八日 多賀町内の小学生を対象に伊勢神宮への日帰り参拝旅行を行いました。当日は暑さ厳しい中にもかかわらず子供たちは元気がよく伊勢の両宮をお参りする事が出来ました。



奉納



この度、昨年の油彩画とスケッチ画のご奉納に続き、小田柿寿郎様（彦根市在住）より水墨画「多賀大社」のご奉納を頂きました。小田柿様は地元彦根をはじめ滋賀県下の風景を長年に亘り描き続けておられます。

近年、子供たちが神社にお参りする機会が少なくなってきた中で、今回の伊勢神宮への参拝を通して少しでも神社への関心を高めるきっかけとなる事を期待しております。

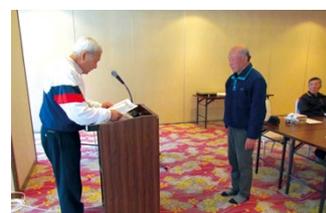
第2回 多賀大社グラウンドゴルフ大会 開催決定

昨年3月27日に崇敬会員を限定としたグラウンドゴルフ大会を開催致しました。今回より参加資格の枠を広げ、崇敬会員・豊年講員・多賀講員のいずれかに入っておられる方を対象と致します。



前回の様子（滝の宮スポーツ公園にて）

◆日 時	令和7年3月27日（木） 雨天中止
◆場 所	クレフィール湖東 東近江市平柳町 22-3 ☎0749-45-3880
◆参加資格	崇敬会員・豊年講員・多賀講員 いずれにも属していない場合は 崇敬会入会が参加条件
◆参加人数	60名
◆参加費	4,500円 実費（昼食・各賞含む） 当日お支払い下さい



前回 グラウンドゴルフ大会順位
優勝 城貝 忠信様
準優勝 荒川 和夫様
3位 宮下 邦夫様

参加申し込み受付は 11月1日より多賀大社崇敬会にご連絡下さい

☎ 0749-48-1101

— 但し、人数が上限に達した場合はお断りさせて頂く事となりますのでご了承下さい。 —

第2回 多賀大社

イン スタ de フォ ト コ ン

最優秀賞



「御田植祭」 masayuuri様

宮司賞



「負けないぞお」 michiyo01130312様

優秀賞



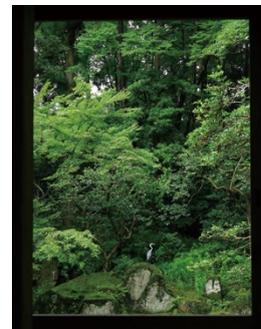
「鳥居」
chitose.500様



「御田植祭」
kuniyoshi0624様



「龍神舞う」
grazie0923様



「額縁の絵」
tiens_82様



「神の光」
monno54様



「重なる提灯の灯り」
silverhornbear様



「お多賀さん雪景色」
hic0nyan様



「待ちきれない万灯祭」
yyy_fff_0129様

今後も魅力ある多賀大社の写真をInstagramで投稿していきたいと思ひます。
是非、多賀大社をフォローして下さい。



@tagataisyia.official

師走の大祓式



人は本来、清らかな状態で生まれてきます。しかし、日々の生活の中で様々な罪や穢れが心にも体にも付いてしまいます。大祓は六月と十二月の晦日に行われ、人形代（ひとかたしろ）に罪や穢れを移し、川や海に流す古来より伝わる、おはらいの神事です。

十二月の大祓は「年越の大祓」と呼ばれ大晦日の午後三時から境内で執り行われます。

ご家族お揃いでご参列頂き、一年の罪や穢れを祓い清めて、新しい年をお迎え下さい。



◆夏越の大祓 おわび

この度、機器の不具合により「夏越の大祓」斎行後のご挨拶状をお送りする事が叶わず衷心よりお詫び申し上げます。皆様からお寄せ頂いた人形・車形は恙なくお祓いし奉修致しました。何卒ご寛容の程お願い申し上げます。

厄年と還暦

数え六十一歳（満六十歳）は還暦と厄年が重なる年廻りです。

還暦はお祝い事、厄年はお祓い事の為、少し意味合いが違うのではないかと思われる方も多いのではないのでしょうか。そもそも還暦とは生まれた時と同じ「暦」に「還」年廻りから、赤ちゃんに還るという意味に重ねられ、赤いちゃんちゃんこを代表に赤を基調としたお祝いをする習わしがあります。

実はこの「赤」という色自体に魔除け（厄除け）の意味合いがある事から、還暦は本厄の年に十干十二支が一巡すると言う目出度い年廻りが重なっているだけで本質は同じとされています。

この為、男女の違いや地域による違いは見られますが、当社では還暦を本厄と捉えその前後の厄除け祈禱もお勧めしております。



■令和7年厄年表〈数え年〉

		前 厄	本 厄	後 厄	お礼参り
男性	25歳の厄	平成14年生	平成13年生	平成12年生	平成11年生
	42歳の厄	昭和60年生	昭和59年生	昭和58年生	昭和57年生
女性	19歳の厄	平成20年生	平成19年生	平成18年生	平成17年生
	33歳の厄	平成6年生	平成5年生	平成4年生	平成3年生
	37歳の厄	平成2年生	平成元年生	昭和63年生	昭和62年生
		前 厄	本 厄	後 厄	お礼参り
61歳 還暦 (男女とも)		昭和41年生	昭和40年生	昭和39年生	昭和38年生

新規授与品のご案内

四月から厄除守と災難除守が新しくなりました。よくこの二つのお守りの違いについてご質問を受けます。

- ・厄除守は今年厄年を迎え厄災を除きたい方
- ・災難除守は厄年ではないが災いを除きたい方とお考え頂きお受け下さい。

厄除守 初穂料 一、〇〇〇円

災難除守 初穂料 一、〇〇〇円



人事

退職

- 【権 禰 宜】藤野 功 (令和六年九月二十八日付)
- 【権 禰 宜】近藤 岳 (令和六年六月三十日付)
- 【舞女兼事務員】布施 春奈 (令和六年六月三十日付)
- 【舞女兼事務員】舟越 風化 (令和六年五月三十一日付)

多賀大社で七五三
感動をそのまま思い出
多賀大社
**七五三
記念パック**
祈祷 衣装 写真
3点セットで おひとり様
27,500円 (税込)



期間 令和6年9月1日~12月8日 受付開始 令和6年7月1日~

平日2大特典!

平日からさらにうれしい!

4分製7inchプリント (L判) プレゼント 1,100円(税込)相当

足袋プレゼント 550円(税込)相当

※本殿祈祷は追加5,000円 ※衣装持込みの方はパック対象外となります。

予約制 記念パックのご予約方法

TEL **0749-48-7311**

9:00~16:00 水曜定休

お電話いただき、担当スタッフとお打ち合せください。

※付添者の着付希望もご一緒に申し込みください。

令和6年七五三まいり

祝い年	対象	数え年	満年齢
3歳	男の子 女の子	令和4年生	令和3年生
5歳	男の子	令和2年生	平成31年生 令和元年生
7歳	女の子	平成30年生	平成29年生

※数え年、満年齢どちらでも承ります。

ご祈祷料

	拝殿一般祈祷	本殿特別祈祷
1人	5,000円	10,000円
2人	8,000円	13,000円
3人	10,000円	15,000円

2・3人の場合はきょうだいに限ります
毎日9時~16時随時受付

七五三のご案内

お子様の成長をお祝いし感謝する七五三。
千歳飴を始め、選べるおもちゃを
用意してお待ちしております。
ご家族お揃いにてお参り下さい。

参集殿からのお知らせ

挙式・披露宴
承り中



ウェディング
見学会
開催予定

令和6年12月15日(日)

要予約

詳細についてはお問合せください

結婚式はおふたりの
一生に一度の大切な日。
そしてその日は夫婦としての
出発の日でもあります。
多賀の杜に抱かれて、
今日まで過ごした家族と
これから一緒に過ごす家族と
一緒に歩く。
数えきれないほどの思い出と
新しい人生の始まりを
胸に感じながら…。

夫婦の神様に誓う
日本の結婚式

お多賀さんでお祝いの食事会

初宮参り・七五三参りなど人生を記念する日には、
多賀大社参集殿でのお祝いのお食事はいかがでしょうか。
記念写真のご予約も承っております。



会席膳 6,600円



松華堂 3,850円



お子様ランチ 1,650円

完全予約制

お食事・記念写真
※写真はイメージです。
※別途サービス料を
頂戴致します。

お申込み・お問合せは
多賀大社参集殿まで

参集殿直通

0749-48-1103

参集殿HP

多賀大社参集殿

検索



Instagram

#多賀大社参集殿

お多賀さんへ初詣

巳年は動物では蛇をあてはめます。

蛇は脱皮を繰り返すことから「復活と再生」を象徴する生き物と古来より考えられて来ました。

新型コロナウイルスの緊急事態宣言の解除より

一年近くが経ちましたが、

今年の夏は一時罹患者の数も大幅に増え、

終息にはまだまだ時間が掛かるように思われます。

巳年もコロナ禍前への日常生活の復活と経済の再生に向け、歩み続ける年となります。



紅鎗矢

烏鎗矢

守護矢

えと一刀彫

四色えと鈴

えと張子	¥1,000	えと鈴	¥1,000
首振り えと張子	¥1,500	四色えと鈴	¥800
べにまぶらや 紅鎗矢	¥2,000	熊手 (特大)	¥10,000
からまぶらや 烏鎗矢	¥2,000	熊手 (大)	¥5,000
守護矢	¥1,000	熊手 (中)	¥3,000
		熊手 (小)	¥2,000

えと張子

首振り えと張子



多賀大社

〒522-0341 滋賀県犬上郡多賀町多賀 604
tel.0749-48-1101 fax.0749-48-1105
✉ info@tagataisya.or.jp

多賀大社

検索



http://www.tagataisya.or.jp



@tagataisya.official



@tagataisya

編集後記

最近は大安にご祈祷を受けられる方が多いように思います。我々も六曜（勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口）を参考に今日は参拝者が多いか少ないかを判断しがちですが、本来この六曜と神道の関係性は無いと言われております。しかし大安であれば何か縁起がよさそうですし、仏滅だと悪そうな印象を受ける為、物事を起こす際の参考にしてしまうのだと思います。

しかし、日本には古くから「思い立ったが吉日」や「今日の生日の足日」と言う言葉があるように今日を良き日と考え、ご参拝頂きますようお願い申し上げます。